

種 ま き 通信No.77

いつも市民派 ずっと無党派
小林じゅん子 議会だより

事務所 〒399-8301長野県安曇野市穂高有明9972-1
Tel. 0263-83-4387 (090-4546-3496) Fax. 0263-83-4938
http://junko.voicejapan.net/ メールはjunko@childnet.ne.jp



発行日：2021年11月17日
発行者：小林純子

◆安曇野市議会9月定例会小林じゅん子の一般質問◆

Q1.M産業(廃棄物処理施設)の排水設備調査について ～かみ合わない答弁 誠意のない逃げの答弁に終始～

Q1【小林質問】 M建設産業の下水道使用量に不審な数値があり、汚水が下水道に流れず地下浸透している恐れがあるので市は調査した。しかし、調査報告書には実施状況や調査結果に関する記述が全くないため、調査の信頼性が疑われるものとなっている。この業務委託の業者選定は、どのように行われたのか。

【市民生活部長】 口頭で業務内容を説明の上、見積りを3者に依頼し、一番安価であった事業者と契約した。

【小林質問】 仕様書がなくは、※見積り合わせはできないのではないのか。

【総務部長】 業者等が業務の依頼内容を的確に理解し見積もるため、仕様書を作成する必要がある。

【市民生活部長】 管内検査カメラを入れて管の中を確認する、管の長さは3mぐらい、泥で見えない場合は管内洗浄をする等々、口頭での仕様の説明になってしまった。

【小林質問】 調査の基本となる仕様書を3者に提示して見積りを取らない限り、適正な調査はできない。談合や不正な随意契約だったと疑われるような状況なので、今回の調査は無効であり、やり直しが必要だ。

【市民生活部長】 県・市の職員も現地で立会い、業者から説明を受け確認しているので、再調査の必要はない。

【小林質問】 立ち会った県・市の職員は裁判で市民と争っている相手方。本来ならば、この調査はきちんとした仕様書に基づいて業者選定し、第三者の立会いにより適正に行わなければならないが、どうか。

【宮澤市長】 今後、県と相談、連携しながら法に基づいて、引き続き立入検査を定期的実施していく。

※見積り合わせ……少額の随意契約は、3社の見積書を比較して、最も有利な相手と契約する。そのような場合に、複数の見積書を比較することを見積り合わせ(みつもりあわせ)という。

*後日の総務環境委員会では、この一般質問でのかみ合わない答弁を問題視する質疑があり、そこでやっと総務部長からは「見積り合わせに仕様書は必須であり、今回の排水設備調査の業務委託について仕様書なく見積り合わせを行ったことは不適切であった。関係部署を指導する」との答弁がありました。

しかし、今回の一般質問がかみ合わない答弁 誠意のない逃げの答弁に終始したことから、M建設産業の排水設備の調査は適切なものだったのか、引き続き追及していく必要を感じています。

～市議選を振り返って～
現職の多くが大幅に票を減らす！

投票率が7%も下がり、約5000票減ったが、小林じゅん子は前回選挙より122票減らすに留め、順位を前回の13位から8位に上げて当選することができました。

現職16名と再挑戦の2名のうち、前回より票を伸ばしたのはわずか3名。公明党は1名しか立候補がなかったのでトップ当選は当然でしたが、実質的増になったのは小林陽子氏と増田望三郎氏の2名だけでした。

500票以上減らした人が5名、うち1名は落選。300票以上減らした人も。この4年間議員を勤めた方々に、市民から厳しい判断が下ったと見ました。

今回の選挙、投票率が4年前より約7%も下がってしまい、これにはショックを受けました。合併した16年前の選挙では70%以上あったものが、今回55.6%。選管から年代別の投票率のデータが公表されたところで、さらに投票結果を分析してみたいと思います。

さて、次は・・・

議長選です。ネット中継で公開されるなか、平林明議員と増田望三郎議員が立候補に当たったの所信表明演説を行いました。両候補者への質疑も活発に交わされ、各々の人柄や議長として目指すところがよくわかり、私自身は投票に迷うことはなかったです。

結果は平林議員に15票、増田議員に



いつも市民派！
ずっと無党派！

得票数1,821で8位当選

引き続き市民派議員として議会です仕事ができる、この重みと喜びを噛み締めています。みなさんの声、いつでも聴かせてください。

電話：090-4546-3496

メール：junko@childnet.ne.jp

～議長選と会派制～
市民不在の議会人事に疑問

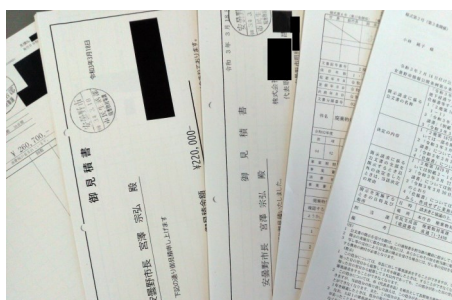
7票。予想通り、一部会派による候補者一本化の動きがうかがわれる結果となりました。平林議員への15票は、会派あづみ野(公明+国民+自民系で9票)+政和クラブ6票と思われ、結局のところ会派の縛りから自由に投票することができなかった結果のように見えます。

副議長選では、会派・あづみ野の1志信一郎議員がただ一人の立候補。会派・あづみ野は、議長も副議長も監査委員も全部取ろうとする勢い。第二会派の政和クラブが議長候補も副議長候補も出してこないはなぜ？。であるならば、こんな会派の都合が優先する市民不在の議長選・副議長選に対して、そこから外れた2つの会派は、自由な形で何らかの批判票を投じることになりました。

結果、一志議員15票、私(小林純子)5票、増田議員1票、井出議員1票という結果になりました。副議長選に立候補していない私や増田議員、井出議員に入った票が批判票と思われる。

国政における政党政治、議院内閣制の会派制や派閥政治をお手本にしているようで、大きい会派がポストの割り振り等やるのは当たり前だと勘違いしているのではないのでしょうか。

自治体政治は2元代表制ですから、会派の勢力争いなどしている場合ではなく、(市民を代表する)議会として市長と対峙すべきなのですが・・・。



▲仕様書なく取り寄せた見積書と関係書類

種まき通信No.77

「種まき通信」の郵送を希望される方は電話・メール等でお申し込み下さい。
◆「種まき通信」は年4回発行しています。そのうちの1回は新聞折込にてお届けしています。毎号の郵送をご希望の方はお申し出ください。

この数字は？ 定数22人

定数＝議員の人数の上限値
22人は安曇野市議会定数
合併時は定数28人、H25年から
25人、H29年から22人に定数減

合併してできた安曇野市議会は、全国の市議会にならって会派制をとっており、会派に属さず無所属でいる議員は、何かと差別的な待遇を強いられてきました。そのため、無所属の議員が集まって「無所属連合」とか「民心・無所属の会」など会派を組んで、無所属の議員でいることの不利益を避けてきた経過があります。

今回の市議選では、なんと選挙告示前の段階から立候補予定者に「当選したらウチの会派へ」と勧誘があったそう。これでは、ますます会派制が歪んでいくと嘆いていたところ、4人の議員が無所属で残ったので「4人いるなら無所属議員の会派を便宜的にでも作っておこう」ということになりました。

「無所属なら、

なんで会派を組むの!？」

安曇野市議会では、無所属議員は会派に属さず無所属（一人会派）になると、議会運営委員会に入れません。この差別的な内規により、私は14年間一度も議会運営委員を経験できませんでした。2年前にやっと、無所属議員が3人以上いれば、そのうち1人が代表として議運に入れるようになりました。が、しかし1人や2人では議会運営委員会に入ってくれないのは、今も変わりありません。

議会運営委員会は議会の運営を大きく左右するので、そこに入れないのは本当にもどかしく、今回、最終的に無所属でいこうという人が4人残ったので、この4人でどうするのかがいいか話し合いました。4人で会派となれば議運に2人送ることができ、議運の中で影響力を持つことができます。それで、以下のような合意のもと、「無会派」の名称で会派届を出すことになったのです。

《 無会派の会派理念 》

*「無会派」は、会派を組まないことの不利益を避けたい議員の集まりである。
*一人ひとりが自立した議員として、常に自己研鑽に努め、自由闊達な議論の積み重ねにより積極的に政策提案を行っていく。

「無会派」のメンバーは、増田望三郎

小林純子 橋本裕二 増井裕壽の4名

◆ 令和2年度安曇野市一般会計の決算認定は ◆

安曇野市議会は2021年9月定例会最終日の17日、令和3年度補正予算、令和2年度決算、その他条例改正などの議案審議を終え、追加提案された議案を含めすべて可決して閉会しました。

今議会の決算審議ではあまり波乱もなく、ほとんどの議案は可決となりましたが、ただ一つ令和2年度安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定については反対しました。

以下、小林じゅん子の反対討論です。

決

算は、市の施政方針や予算編成方針に示された重点課題の結果に対する事後評価であり、住民の福祉の増進、平たく言えば「市民の幸せ」を実現するための次の予算編成の基本となるものとして重要な意味をもちます。

令和2年度の安曇野市の総決算としては、市行政組織の内部統制の緩みにより、適正な事務執行・予算執行がなされず、成果があがっていない状況が見えるため、反対せざるを得ません。

具

体的にいくつか事例をあげます。
安曇野市役所ではじめてのセクハラ事件については、2年以上をかけて、適正な対応をするよう求めています。市には解決しようとする姿勢が見えませんが、被害者職員が精神的に追い詰められて退職を余儀なくされても、市はこの事件をうやむやにしたまま公表もせず、再発防止につなげる様子も見えません。正規雇用の被害者職員は守られるなか、非正規雇用の被害者職員は体調を崩し精神を患ったため、公務災害の申請をしていますがいまだ結論はでていません。

令和2年度にはハラスメント防止等に関する要綱を作ったわけですが、十分に機能するものとなっているか、本気で取り組もうとしているのかが問われていると思います。

本

気度が問われるといえば、工業振興事業の多くを業務委託している一般社団法人の設立の経緯にも問題を感じます。あまりにも安易に市が関わって

おり、お互いが持ちつ持たれつの間柄で、事業を丸投げしている中ではどれだけ成果があがっているのか、次に目指すべきことは何かなど、はっきりしないまま漫然と続けるだけの事業になっているのではないのでしょうか。

これと似たような経緯で市が関わって設立された一般社団法人に、社会就労センターの運営を指定管理で任せた事業では、この一般社団法人の運営費用の積算の見込み違いがあり、決算で大きな繰越金が発生し5年間の繰越金3千万円以上が蓄積されていたにもかかわらず、市は指定管理料を見直すといった基本的なことをしていなかったことが、令和2年度の財政援助団体等の監査で明らかになりました。

もう一つ、記憶に新しい事例をあげます。廃棄物処理施設に関する排水設備調査の業務委託で、随意契約にあたって仕様書を作らないで見積り合わせを行ったという問題です。不正な随意契約や談合があったと疑われても仕方ないようなやり方をしたにもかかわらず、再発防止に向けての反省はありません。共通の問題として、業務委託や指定管理者制度等により外部へ任せることによって、事業の丸投ぎの傾向が強まり、そこに、市行政組織の内部統制の緩みにより、適正な事務執行・予算執行がなされず、行政として果たすべき責任や機能の低下を招いているのではないかと懸念されます。

安曇野市議会・常任委員会構成

議長 平林 明 副議長 一志信一郎 監査委員 沼田義人

◆総務環境委員会（7人）

小林陽子 政和クラブ ◎
中村芳朗 政和クラブ ○
竹内秀太郎 会派 あづみ野
井出勝正 日本共産党
安曇野市議団
増田望三郎 無会派
小林純子 無会派
一志信一郎 会派 あづみ野

◆福祉教育委員会（7人）

林 孝彦 政和クラブ ◎
橋本裕二 無会派 ○
矢澤毅彦 政和クラブ
岡村典明 会派 あづみ野
臼井泰彦 日本共産党
安曇野市議団
沼田義人 会派 あづみ野
内川集雄 会派 あづみ野

◆経済建設委員会（7人）

中村今朝子 会派 あづみ野 ◎
大竹啓正 会派 あづみ野 ○
増井裕壽 無会派
辻谷洋一 政和クラブ
松枝 功 政和クラブ
猪狩久美子 日本共産党
安曇野市議団
宮下明博 会派 あづみ野

◎委員長 ○副委員長 2021年10月29日現在

（敬称略）